

第1号様式(第5条関係)

令和2年度 指定管理者年度総合評価表

作成年月日	令和3年7月20日
-------	-----------

1 指定管理者概要

施設名	別海町酪農研修牧場		
所在地	別海町西春別347番地63		
施設概要	【農用地】 牧草地 1,962,481㎡ 施設用地 50,550㎡ 用悪水路 3,409㎡ 合計2,016,440㎡ 【第1実践牧場】 成牛舎、堆肥舎、尿溜、育成牛舎、バンカーサイロ、農機具庫、敷料庫、隔離牛舎、管理者住宅、研修生住宅、囲場堆肥盤、研修館及び各種農業機械		
指定管理者	名称	有限会社 別海町酪農研修牧場	
	代表者	代表取締役社長 佐藤 次春	
	所在地	別海町西春別347番地63	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		
指定管理者の業務	(1)研修生等の研修指導に関する業務 (2)研修終了後の就農指導に関する業務 (3)農畜産物の生産、販売に関する業務 (4)研修牧場の施設及び設備の維持管理に関する業務 (5)研修牧場の施設等の利用承認に関する業務 (6)利用料金の徴収に関する業務 (7)別海町営畜牛育成牧場の管理運営業務 (8)上記業務に付随する業務		
町の所管課	産業振興部農政課		
	電話	0153-75-2111(内線1416)	
	E-mail	nousei@betsukai.jp	

2 指定管理者による自己評価

評価	・研修生の受入と就農を関係機関と連携を図り取り進めることができた。就農指導についても不定期ではあるが、JAと連携を図り支援できた。人件費の増加が顕著であるため、就業形態を整理したい。 ・個体販売は予定通り、生乳生産量が目標を達成できなかったため、改善点を精査したい。 ・施設、機械の老朽化対策としてコンビラップの修繕、トラクターの入れ替え候補を選定した。
今後について	・周辺指導農家への派遣ができるぐらい研修生を確保したい。 ・スーパーアドバイザー（有識者、指導農業士）を採用し、指導体制、飼養管理等の改善を図りたい。 ・高齢化が進む作業員、指導員の計画的な入れ替えが必要。 ・老朽化する農業機械等の入れ替えや補修について、経費を抑えつつ効果的な計画が必須。

3 町(所管課)の総合評価

評価	当該施設は、設置から相当年数が経過している中、日常的なメンテナンスや補修等を行うことで、維持管理に努めており、協定書及び仕様書に基づく適正な管理が行われている。令和2年度は継続案件であった1組の新規就農予定者の就農地を無事確保することができ、円滑な就農に向けて取り進めており、事業は適正に実施されている。 指導員等の高齢化や臨時作業員等の慢性的な人材不足があるため、人材確保対策や特別指導員の採用による研修体制強化、経営改善が喫緊の課題となる。
指摘事項	特になし。

4 管理運営状況に係る個別評価

評価欄への記入内容 ◎： 町が示した条件や内容を上回る水準で管理運営されていた ○： 町が示した条件や内容が概ね達成されていた ×： 町が示した条件や内容が達成されていなかった 特記事項への記入内容 特記事項への記入内容は、評価が◎又は×となった項目についてのみ記載

(1)管理・運営状況

指標	評価	特記事項
開館日、開館時間の状況	○	
法令の遵守の状況	○	
適正な人員配置状況	○	
従業員の労務環境確保の状況	○	
障がい者の雇用状況(該当がある場合)	—	該当なし
従業員への教育・研修状況	○	
緊急事態への対応状況	○	
書類等の管理保存状況	○	
報告書の提出状況	○	
利用料金の取扱状況(該当ある場合)	○	
利用料金の減免状況(該当ある場合)	—	該当なし
口座管理、経理の区分状況	○	
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償状況	—	事例なし

付保する保険(保険加入を指定している場合)の状況	○	
重要事項の変更の届出状況	○	
施設の使用許可及び使用条件等の状況	○	
施設、設備の保守管理状況	○	
備品の管理状況	○	
清掃業務、保安業務、その他必要な衛生管理業務等の状況	○	
自主事業の状況(選定時に提案があった場合のみ必須)	—	自主事業なし
環境への配慮(町から事前に条件を示している場合のみ必須)	○	
苦情・要望等の受入体制確保の状況	○	
苦情・要望等への対応状況	○	

5 他の事業評価実施状況

(1)セルフモニタリング

自主点検状況	ISOの登録により、規定に準じた管理を実施し、監査を受けている。
--------	----------------------------------

(2)定期モニタリング

定期報告状況	報告書により毎月の運営状況が適切に報告されている。
--------	---------------------------

(3)随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	7回	4月10日	農政課	施設運営内容等協議
		6月5日	農政課	施設運営内容等協議
		9月28日	農政課	施設運営内容等協議
		11月27日	農政課	施設運営内容等協議
		1月6日	農政課	施設運営内容等協議
		2月26日	農政課	施設運営内容等協議
		3月19日	農政課	施設運営内容等協議
	実施結果			
	施設運営や管理等について、指定管理者と協議のうえ対応した。			

(4)その他の状況

指定管理業務に関する財務状況 (計画と実績の状況)	前年収穫の粗飼料が低品質であったため、搾乳牛の食欲低下を引き起こし、生乳生産量が思うような伸びを見せず計画を下回った。 また、飼料費、経営資材等の高騰や、牛舎内設備、農業機械の修繕費、人件費の増加が経営収支を悪化させた。
その他の取組状況 (運営に関する工夫)	特になし。